

温室効果ガス排出量検証報告書

NECネットエスアイ株式会社 御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、NECネットエスアイ株式会社が作成した「Scope1,2,3排出量算定報告書(2023年度データ)」(以下、「算定報告書」という。)に記載された2023年度の温室効果ガス(GHG)排出量が、同社により作成された「2023年度データGHG排出量算定Scope1,2,3 算定の考え方マニュアル」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2023年度とは、2023年4月1日から2024年3月31日までの期間をいう。

検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社のGHG排出量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。対象活動範囲は、Scope1、Scope2(マーケット基準)のエネルギー起源CO₂排出量、Scope3(カテゴリ1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15)のGHG排出量である。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量における5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、NECネットエスアイ株式会社の国内68拠点とした。

Scope1,2の検証においては、国内3拠点を現地検証の対象とし、各拠点における算定対象範囲の確認、GHG排出源及びモニタリングポイントの確認、算定・集計体制の確認、活動量について根拠資料との突き合わせを行った。なお、現地検証の対象とした拠点の決定はNECネットエスアイ株式会社が行った。算定ルール等の確認のための統括検証及びScope3に関する検証では、算定ルールの確認、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定・集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の2023年度のGHG排出量は付属書のとおりであり、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の作成責任はNECネットエスアイ株式会社にあり、GHG排出量の検証の結論に関する責任は当機構にある。NECネットエスアイ株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理 事 浅 田 純 男



本書と付属書を合わせてご覧ください。

温室効果ガス排出量検証報告書 [付属書]

NECネットエスアイ株式会社 御中

温室効果ガス（GHG）排出量			
Scope1		t-CO ₂	986
Scope2			1,945
Scope3		t-CO ₂ eq	1,112,208
Scope3 内訳	カテゴリ1		496,603
	カテゴリ2		8,152
	カテゴリ3		558
	カテゴリ4		11,458
	カテゴリ5		362
	カテゴリ6		4,253
	カテゴリ7		1,545
	カテゴリ8		算定対象外
	カテゴリ9		算定対象外
	カテゴリ10		算定対象外
	カテゴリ11		587,057
	カテゴリ12		2,221
	カテゴリ13		算定対象外
	カテゴリ14		算定対象外
	カテゴリ15		算定対象外

以上